

タイプ別事業の比較

A-1案

◎伊賀市南庁舎 ⇒ 観光施設

想定される規模	求められる機能	参考 (㎡)	駐車台数	想定される事業費 (他市事例等参考)
1) 3,000㎡ (解体・新築・コンパクト)	観光センター 日本一のトイレ 市民広場	・しいのき迎賓館 総合案内、ギャラリー 500 イベントホール、会議室 300 会議室 250	約200台	解体費 30千円×5,927㎡≒178百万円 新築費 280千円×3,000㎡≒840百万円
2) 5,927㎡ (保存・活用・リノベーション)	忍者体験施設 忍者着替処 物産、土産物販売など	レストラン、ショップ 1,500 事務室、共用部分 2,338 合計 4,888	約100台 (北庁舎跡のみ)	改修費 280千円×5,927㎡≒1,660百万円

◎城北駐車場・消防本部跡地 ⇒ 図書館

想定される規模	求められる機能	参考 (㎡)	駐車台数	想定される事業費 (他市事例等参考)
1) 3,600㎡ (新図書館答申から)	市民の憩いの場 長時間滞在 コミュニケーション 桜並木からのスロープ ネットワーク拠点 駐車場など	・新図書館基本計画答申から 交流スペース 320 開架スペース 1,830 学習スペース 100 閉架・書庫スペース 650 事務所等共用部分 700 合計 3,600	約100台 (城北のみ)	新築費 320千円×3,600㎡≒1,152百万円 解体費 30千円×1,770㎡≒53百万円 ※消防庁舎を解体する場合

◎上野図書館 ⇒ 芭蕉翁記念館

想定される規模	求められる機能	参考 (㎡)	駐車台数	想定される事業費 (他市事例等参考)
1) 2,150㎡ (記念館基本計画答申から)	生家、天神等との連携 文化ゾーンの構築など	・記念館基本計画答申 類似施設平均 2,145	確保が困難	改修費 280千円×2,150㎡≒602百万円 ※増築費含む ※耐震改修費用除く
2) 1,678㎡ (保存・活用・リノベーション)			44台 (郵便局裏含む)	改修費 280千円×1,678㎡≒470百万円

A - 2 案

◎伊賀市南庁舎 ⇒ 観光施設

想定される規模	求められる機能	参考 (㎡)	駐車台数	想定される事業費 (他市事例等参考)
1) 3,000㎡ (解体・新築・コンパクト)	観光センター 日本一のトイレ 市民広場	・しいのき迎賓館 総合案内、ギャラリー 500 イベントホール、会議室 300 会議室 250	約200台	解体費 30千円×5,927㎡≒178百万円 新築費 280千円×3,000㎡≒840百万円
2) 5,927㎡ (保存・活用・リノベーション)	忍者体験施設 忍者着替処 物産、土産物販売など	レストラン、ショップ 1,500 事務室、共用部分 2,338 合計 4,888	約100台 (北庁舎跡のみ)	改修費 280千円×5,927㎡≒1,660百万円

◎上野ふれあいプラザ ⇒ 図書館

想定される規模	求められる機能	参考 (㎡)	駐車台数	想定される事業費 (他市事例等参考)
1) 3,600㎡ (新図書館答申から)	スーパーマーケット ホテル 駐車場 街なかの回遊 社会福祉協議会など	・新図書館基本計画答申から 交流スペース 320 開架スペース 1,830 学習スペース 100 閉架・書庫スペース 650 事務所等共用部分 700 合計 3,600	44台 (借地)	解体費 30千円×8,181㎡≒245百万円 新築費 280千円×1,800㎡≒504百万円 新築費 320千円×3,600㎡≒1,152百万円 ※1階に商業施設の想定

B - 1 案

◎伊賀市南庁舎 ⇒ 図書館（芭蕉翁記念館を含む）

想定される規模	求められる機能	参考 (㎡)	駐車台数	想定される事業費（他市事例等参考）
1) 3,000㎡ (解体・新築・コンパクト)	観光、文化歴史、産業の核 高齢者、若者が自由に利用 不特定多数の利用⇒賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館基本計画答申から 交流スペース 320 開架スペース 1,830 学習スペース 100 閉架・書庫スペース 650 事務所等共用部分 700 合 計 3,600 	約200台	解体費 30千円×5,927≒178百万円 新築費 320千円×3,000≒960百万円
2) 5,927㎡ (保存・活用・リノベーション)		<ul style="list-style-type: none"> ・記念館基本計画答申 類似施設平均 2,145 	約100台 (北庁舎跡のみ)	改修費 320千円×5,927㎡≒1,897百万円 ※増築費除く

B - 2 案

◎伊賀市南庁舎 ⇒ 図書館（芭蕉翁記念館を除く）

想定される規模	求められる機能	参考 (㎡)	駐車台数	想定される事業費（他市事例等参考）
1) 3,000㎡ (解体・新築・コンパクト)	知的文化拠点の充実 生涯学習の拠点 伊賀市の総合ガイダンス機能	・新図書館基本計画答申から 交流スペース 320 開架スペース 1,830 学習スペース 100	約200台	解体費 30千円×5,927≒178百万円 新築費 320千円×3,000≒960百万円
2) 5,927㎡ (保存・活用・リノベーション)	図書館サービスの司令塔 コミュニケーション、癒しの場など	閉架・書庫スペース 650 事務所等共用部分 700 合計 3,600	約100台 (北庁舎跡のみ)	改修費 320千円×5,927㎡≒1,897百万円

◎上野図書館 ⇒ 芭蕉翁記念館

想定される規模	求められる機能	参考 (㎡)	駐車台数	想定される事業費（他市事例等参考）
1) 2,150㎡ (芭蕉翁記念館答申から)	生家、天神等との連携 文化ゾーンの構築	・記念館基本計画答申 類似施設平均 2,145	確保が困難	改修費 280千円×2,150㎡≒602百万円 ※増築費含む ※耐震改修費用除く
2) 1,678㎡ (保存・活用・リノベーション)			44台 (郵便局裏含む)	改修費 280千円×1,678㎡≒470百万円

想定事業費の比較

案の分類	事業内容	事業費 (百万円)	合計 (百万円)
A-1案	◇伊賀市南庁舎 (解体・新築の場合)		
	現南庁舎解体費	178	【最小事業費】 南庁舎…解体・新築 図書館…既存活用 <u>2,640</u>
	新規施設整備費	840	
	◇伊賀市南庁舎 (保存・活用の場合)		【最大事業費】 南庁舎…既存活用 図書館…増築 <u>3,467</u>
	施設改修費	1,660	
	◇城北駐車場・消防本部跡地		
	新規施設整備費	1,152	
現消防庁舎解体費	53		
A-2案	◇伊賀市南庁舎 (解体・新築の場合)		
	現南庁舎解体費	178	【最小事業費】 南庁舎…解体・新築 <u>2,919</u>
	新規施設整備費	840	
	◇伊賀市南庁舎 (保存・活用の場合)		【最大事業費】 南庁舎…既存活用 <u>3,561</u>
	施設改修費	1,660	
	◇上野ふれあいプラザ		
	現ふれあいプラザ解体費	245	
新規施設整備費	1,656		
B-1案	◇伊賀市南庁舎 (解体・新築の場合)		【最小事業費】 南庁舎…解体・新築 <u>1,138</u>
	現南庁舎解体費	178	
	新規施設整備費	960	【最大事業費】 南庁舎…既存活用 <u>1,897</u>
	◇伊賀市南庁舎 (保存・活用の場合)		
施設改修費	1,897		
B-2案	◇伊賀市南庁舎 (解体・新築の場合)		【最小事業費】 南庁舎…解体・新築 図書館…既存活用 <u>1,608</u>
	現南庁舎解体費	178	
	新規施設整備費	960	
	◇伊賀市南庁舎 (保存・活用の場合)		【最大事業費】 南庁舎…既存活用 図書館…増築 <u>2,499</u>
	施設改修費	1,897	
	◇上野図書館		
	施設改修費 (増築込み)	602	
施設改修費 (既存活用)	470		

※上記は想定される事業費であり、詳細な事業費は設計業務等により算出されます。